

稽古納め



- 盆香合
- 初炭
- 茶筌飾り
- 台飾り
- 唐物真・行
- 続薄
- 後炭
- 薄茶



掛物無事



花入輪無し二重切

〔掛物〕 「無事」 宗心宗匠筆

〔花入〕 輪無し二重切 松孤軒宗匠作

花 「水仙」「ハシバミ・西王母」「錦木」

「土佐水木」「紅マンサク」「初嵐」「紅妙蓮寺」

〔香合〕 志野 ハジキ 惺齋宗匠判箱

〔炭斗〕 油竹

〔灰器〕 雲華

〔釜〕 丸釜霰 垓志作

〔棚〕 三木町棚

〔水指〕 赤絵鳳凰紋 即全作

〔茶入〕 高取文琳 味楽作

仕服 大黒屋金襴

〔茶碗〕 赤 寿山作

替 片男波写し 理平焼

〃 尾戸立鶴筒 即中齋宗匠箱



茶入 高取文琳



茶碗 赤



茶碗替 片男波写し



茶碗替 尾戸立鶴筒



水差 赤絵鳳凰紋



釜 丸釜霰



香合 志野

〔茶杓〕 而妙齋宗匠銘「埋火」

〔薄茶器〕 高台寺時絵 即中齋宗匠判箱 后一兆作

建水 唐銅 エフゴ

蓋置 赤つくね 玉藻焼

〔菓子器〕 留ヤンポ松葉絵 岡專作

〔干菓子器〕 丸切泊

菓子 「深山の雪」「霜の葉」「祇園坊」

「柚形」「鶉餅」

干菓子 「源氏香」「巻柿」

濃茶 猶有齋好「楽寿の昔」 柳桜園

薄茶 猶有齋好「清友の白」 柳桜園



茶杓「埋もれ火」



薄茶器 高台寺時絵

〔盆香合〕

香合の出し方  
釜に水を加え方

〔初炭〕

羽根香合の扱い  
炭の乱組

〔茶筌飾り〕

由所のたずね方

〔干支仕舞〕

その年の干支、御題にちなんだ物を  
年度末につかう

〔唐物〕

真・行

〔続薄〕

座布団の運び方  
客の座布団の扱い

〔後炭〕

灰器に香合の仕組方、取り出し方  
水を加える



干支仕舞

《新型コロナウイルス感染拡大防止》